

箱根組ニュース

第303号 2018年 3月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入つて山に登りましょう！

奥日光、竜頭の滝から戦場ヶ原を歩き、湯元温泉付近でスノーシューを楽しむ。

2月17日（土）、東武浅草駅7時30分発の特急げごん5号に乗車。車窓は田園風景から里山に変わり、男体山や女峰山などの日光の山々が見えてくる。

9時20分、東武日光駅に到着。ひんやりとした駅前に降り立ったのは、和田、及川、太田、星野親子、川名夫妻、神山、宗像夫人、戸丸の10名。9時35分発の湯元温泉行に3名が乗るが満員で乗り切れず、残り7名は10分後の9時45分発のバスで追いかける。

先のバスは竜頭の滝に10時36分着。後のバスは10分後に到着。ちらちらと雪が舞っている。バス停から少し手前に戻ると竜頭の滝だ。竜頭の茶屋と公衆トイレがある。茶屋の真ん前にほとんど氷結している迫力の滝が流れている。茶屋の休憩所をお借りしてスパッツ、雨具など身支度をする。

11時19分、歩き出す。実はこの時、道を間違えてバス通りを進んでしまった。数分で気が付いたが元に戻っても同じくらいの時間なのでそのまま進むこ

とにした。本当は公衆トイレの横を進むのが正規のルートだった。結果約10分ほど多く歩いたことになる。

バス通りを右に大きく蛇行しながら進み竜頭の橋を渡ると左側に正規のルートが現れた。橋の手前で左方向へ進む団体がいたが、3等三角点の高山（1667m）方面だ。

11時40分、橋を越えた左側でアイゼンを着ける。11時53分再出発。一面雪で埋め尽くされている、というより深い雪だ。

まずは真っ白な雪の雑木林を進む。左には川が流れている。地獄川というらしい。木漏れ日が雪原に木々のシルエツトを描いている。空は青空でとても気持ちがいい。

12時、鹿除けのゲートを越える。少し進むと車道を横切る、ここが石楠花橋のポイント。左に行けば幕張峠方面、右に行けばバス通りに出られる。左斜め方面に数名が進んでいったが小田代歩道方面だ。ここで短い昼食にする。雪の上



に敷物を敷いて昼休憩。

12時35分出発。ここの標識には「戦場ヶ原自然研究路入口」と「日光てくてく歩道」とある。少し進むと左に道が分かれる、これは小田代歩道につながる。道なりに右方向に進む。

12時49分、赤沼分岐。これを左が予定ルートだが、直進して赤沼でトイレ休憩。トイレは暖房が入っていて快適だった。13時7分、元に戻ってルートを目指す。

13時11分、赤沼分岐を右折。ここからは戦場ヶ原のエリアだ。左の湯川では深い緑色の頭がきれいなマガモが餌を探している。それにしても真っ白な雪の上は気持ちがいい。そこから伸びている白樺が美しい。歩いているルートの下は木道だが雪が厚く積もっている枝に

現在の収支	
繰越	35220 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	33820 円

切手残数	
82円切手	235枚
40円切手	131枚

頭がぶつかることが多い。大きな望遠レンズで鳥を写しているカメラマンが沢山いる。右方向には男体山がうっすらと雪雲で霞んで見えてくる。

13時35分、戦場ヶ原らしい木々の無い広い雪原に出る。ベンチがあるが風が冷たいのであまり休まずにフードを被って進む。しばらくするとまた林の中に入っていく。

1時47分、小さな木の橋で湯川を渡る、青木橋のようだ。

2時9分、左の小田代ヶ原からの道と合流する。

2時17分、小さな小田代橋を渡る。このあたりはカワマスの産卵場所だそう。

木の階段を上ったところに分岐がある。右に行けば光徳方面だ。左の湯滝方面に進む。このあたりは湯滝ミズナラの保護林だそう。川沿いのやや歩きにくい道が続くが美しい。左の小滝周遊道路は閉鎖されていた。

2時51分、鹿除けのゲートをくぐると湯滝レストハウスに到着。営業はしていない。目の前に大迫力の湯滝が現れる。想像以上の圧巻だ。湯滝の横の急な坂を九十

3月18日(日)は筑波山に行きます。

女体山(877m)、男体山(871m)

レギュラーコース 歩行4時間

13年ほど前に山中さんも参加した筑波山に久しぶりに行きます。今回は少しルートを変えてつつじヶ丘から女体山、男体山と回り筑波山神社に下ります。

●下山後、時間があれば温泉に入ります。

※何か汁ものを作ります。

○持ち物 昼食、飲料水、非常食、雨具、スパッツ、傘、ポットにお湯、食器、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは3月16日(金)までに

集合 3月18日(日)

つくばエクスプレス秋葉原駅

7:00発 快速つくば行き

(前から3両目車内)

つくば駅 7:45着 (バス乗換)

(1番乗り場) 8:00 つつじヶ丘行き

つつじヶ丘 8:50着

●以下の切符を買うと約820円お得です。

電車とバスが乗り降り自由です。

筑波山あるキップ3,300円(秋葉原から)

(駅の券売機で当日買えるようです。)

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

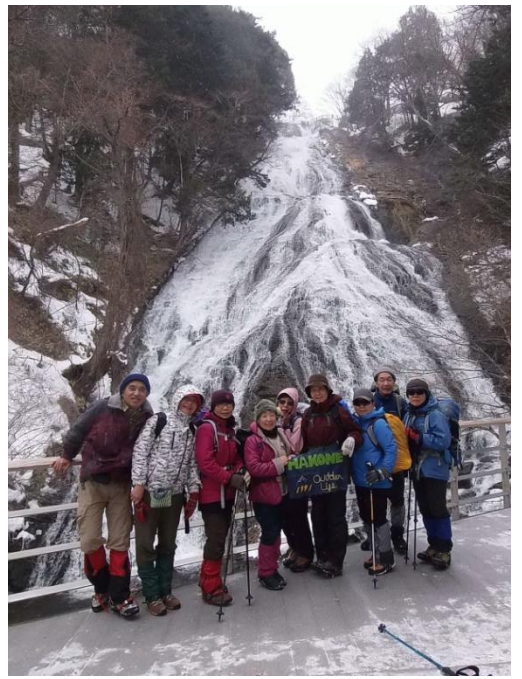
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/



九折れに登ってゆく。深い雪を乗り越えて上の車道横に出ると湯ノ湖に出る。

ここから天気が急変した。まるで八甲田山の映画のような感じだ。風が強くなり雪が横から吹き付けてくる。ここからは写真を撮る余裕もなかった。車道から遊歩道に入り兎島の付け根を深い雪の中を歩き、湖畔沿いの道を左に曲がる。

右に場がり大通りを左に行くと湯元スキー場手前右側の「日光グランドホテルほのかな宿樹林」に4時到着。

なかなか立派なホテルで、応対も良い気分だ。

二階の三部屋に10人は収まった。しばらくゆっくりしてさっそく湯元温泉のお湯に浸かる。窓の外、樹林の景色は真っ白な深い雪。お湯も少し熱めでとても気持ちがいい。露天風呂に寒さをこら

えて決死の覚悟で2枚のドアを越えて入ったがやはり気持ちがいい。

6時から夕食、食前酒とビールで乾杯。料理もおいしく鍋は食べきれなかった。

翌朝は、5時に起きて朝風呂を楽しんだ。ちらちらと雪は舞っているが、どうやら天候はまずまずの様だ。

8時朝食、これまた大満足だった。

9時30分、荷物をフロントに預かってもらい、スノーシューを借りに近くのスキー場隣接のレンタル屋さんに向かう。スノーシューとストックを借りて着け方を教わりいざ出発。

湯元温泉エリアで三つあるスノーシューコースの中で一番平坦な金精の森コースを目指す。道路はすべて雪で埋め尽くされているのでお店の前から歩き出すことができる。

昨日の道に戻り、大通りを左に曲がり東武バス湯元温泉ターミナル先を左に曲がりまっすぐ広い車道を進んでゆく。車道は除雪されているが、それでも真っ白い道路だ。

10時49分、車道から登山ルートに入ってゆくが雪が深くすぐには見分けはつかないが、それでも赤いリボンがついているので安心だ。

ここからは深い雪だ。昨夜降った新雪

が柔らかく気持ちがいい。踏み跡³の無い新雪を歩くのは気持ちがいい。
11時20分、だいぶ歩いたのでここで記念撮影をして戻ることにする。
レンタル屋さんの1階が食堂でスキー客に交じって美味しい湯葉蕎麦などを頂く。
雪と戯れ、自然の厳しさを満喫の奥日光でした。



